



競技注意事項

※本競技会は、一部有観客(保護者のみ)での実施とする

1 競技規則について

本競技会は、2022年 日本陸上競技連盟競技規則 及び、本競技会申し合わせ事項 に基づいておこなう。

2 招集について

- (1) 招集所は、スタンド下・雨天練習場に設ける。
- (2) 招集開始時刻・完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載されている。
- (3) 携帯電話・スマートフォン・タブレット等の電子通信機器は、招集所内に持ち込まないこと。
- (4) 招集の手順
 - ① 競技者は、招集開始時刻までに招集所で、自分のビブスナンバーに○を付ける。その際、アスリートビブス及びシューズの点検を受けること。トラック種目出場者で、腰ナンバー標識が配布された場合は、右腰のやや後方につけること。
 - ② 招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
 - ③ 代理人による招集の点呼は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、最初の種目の招集開始時刻までに、所定の「多種目同時出場届」を招集所へ提出すること。(用紙は招集所に準備) その場合に限り、招集時刻の点呼に代理人を認める。
- (5) やむなく欠場する場合は、招集開始時刻までに「欠場届」を招集所へ提出すること。(用紙は招集所に準備)
- (6) リレー種目について
 - ① 「オーダー用紙」は、招集完了時刻の 1 時間前 までに招集所へ提出すること。(用紙は招集所に準備)
 - ② 出場メンバー全員が点呼を受けること。ただし、他種目に出場している場合は、上記(4)③に準ずる。
※ユニフォームは同型・同色を原則とする

3 用器具について

- (1) やり投競技のやり及び棒高跳競技のポール以外は、競技場備え付けのものを使用すること。
- (2) 持ち込みのやりは、競技開始時刻の 1 時間前 までに南用器具倉庫に持参して検査を受けること。

4 競技について

- (1) 朝の競技場内での練習は、9時10分 までとする。以降の練習については、多目的広場等を利用すること。
- (2) アスリートビブスは胸・背部につけること。(跳躍競技は胸部または背部の片方のみでよい)
- (3) スパイクシューズのピンの長さは 9mm 以下とする。走高跳及びやり投は長さ 12mm 以下とする。
- (4) トラック競技で使用できる靴底の厚さは、800m未満の種目は 20mm、800m以上の種目は 25mm とする。
- (5) トラック競技のレーン及びフィールド競技の試技順はプログラム記載のとおりとする。
- (6) 風の状況によりバックストレートを使用する場合は、スタート及びフィニッシュの位置が変更になる。
- (7) フィールド競技はトップ8方式をおこなう。
- (8) 男子走幅跳においては、
Aピット(試技順 No.1~35・スタンド側)と、Bピット(試技順 No.36~70・トラック側)の2ピットで行う。
男子三段跳においては、
Aピット(試技順 No.1~13・スタンド側)と、Bピット(試技順 No.14~26・トラック側)の2ピットで行う。
女子走幅跳においては、
Aピット(試技順 No.1~13・スタンド側)と、Bピット(試技順 No.14~26・トラック側)の2ピットで行う。
- (9) 三段跳の踏切板は、男子 11m00・女子 9m00 に設置する。

重要 新型コロナウイルス感染拡大防止に関する注意事項

- (1) 会場内では、主催者から配られた I Dカードを、見えるところに必ず付けること。
- (2) 会場では、アルコール消毒液などの準備はするが、必ずマスク着用・うがい・手洗いなどの感染防止対策を徹底して講じること。
- (3) 密集・密閉・密接空間をつくらないようにするため、更衣室の準備はしない。
- (4) 近距離での会話や発声を避け、応援など大きな声を出すことも控えること。
- (5) 長時間会場に留まることのないようタイムテーブルを確認の上、競技会に参加すること。
- (6) 投てき競技のすべり止め等は、各自で持参すること。
- (7) もし、競技会終了後2週間以内に、感染の疑い・感染等が確認された場合は、速やかに、必ず主催者に報告すること。